

▶平成21年3月22日(日)

テレビ局がある蓮根を栽培している農家取材していました。

蓮根を水中から掘り出した後で、その蓮根を料理し、賞味している場面。

食卓をかこんで、お父さん、お母さん、そしてテレビ局の女レポーター。

蓮根を使った様々な料理が食卓を飾っております。

カメラがなめるように、様々な蓮根料理をとらえています。

蓮根の炊き込みご飯，みそ汁，天ぷら...

う～ん，実においしそうなのがいっぱい。

そのなかに，蓮根とえびの唐揚げがあって，

レポーターをその1つをはしでつまみ，口へ。

さくさくさく，と軽やか音。

「う～ん，このえび，さくさくしていておいしいですね。

えびの味が一段とさえています。

う～ん，やっぱり，エビってからあげですよね。」

...!!!

お父さんのにこにこした笑顔の口元が引きつっております。

お母さんは，むっとして下を向いたままです。

そうです。

蓮根の「は」の字もできません。

このレポーター，何をしにここへ来たのでしょうかね。

これ，実話です。

平成19年2月10日，午前7時42分からの某N...局の農家のレポートです。

数日後，別の番組で，アナウンサーの宣わく，

「ほうれんそうとバターを炒めまして...。」

バターを炒めてどうするの？

バターのバター炒め，

中性脂肪がたっぷりつきそう！

ふとりぎみの人は決して食べてはいけませんよ。

下の6種類の四角形をみて、それぞれの四角形を定義しなさい。

四角形とは、**4本の直線で囲まれた図形**

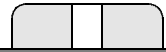
台形とは、[] 四角形

平行四辺形とは、[] 四角形

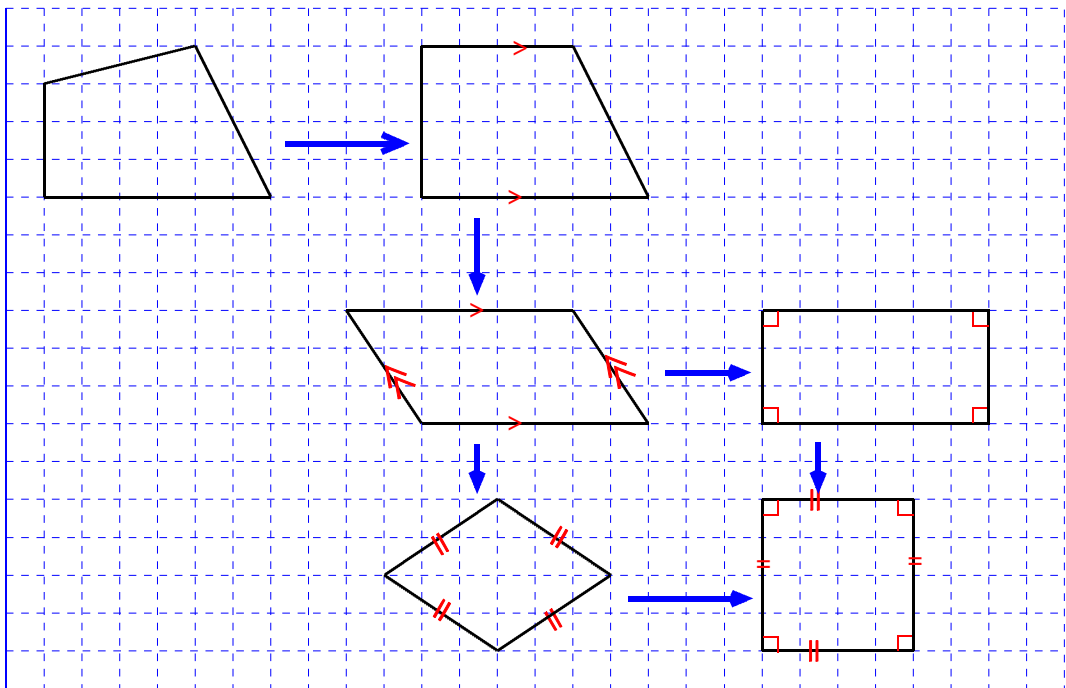
ひし形とは、[] 四角形

長方形とは、[] 四角形

正方形とは、[] 四角形



四角形の相互関係図



生徒 A 子：「わお！

なんじゃい，こりゃ！」

先生：「み～んな，四角形。」

生徒 A 子：「だからさ，
何すんの？」

先生：「それぞれの四角形の定義を言うの。」

生徒 A 子：「ほんとにみ～んな，四角形？」

先生：「そう，
み～んな四角形。」

生徒 A 子：「ほへ！
何が違うの？」

先生：「だからさ，
その違いを述べなさい，という問題。」

生徒A子：「...，...，...，
う~っ！/う~っ！/う~っ！」

先生：「どしたの？」

生徒A子：「**わん！**」

先生：「ばっか！
それ，この前やったギャグじゃないか！」

生徒A子：「てへ！
ところで，センセ，
”じょうぎ”って何？」

先生：「”じょうぎ”？
何で，ここで”定規”が出てくるの？」

生徒A子：「だって，センセ，さっき書いたでしょ？
”定義”って。」

先生：「...
あのな！」

生徒A子：「”ていぎ”って読めってんでしょ，
ちょこっと，遊んであげたの！」

先生：「この~！
ぶんなぐるぞ！」

生徒A子：「でも，ほんとうのところ，定義って何なの？」

先生：「まじめに聞けば，教えてあげる。」

生徒A子：「まじめ！」

先生：「ん？？？」

生徒A子：「”まじめ”と聞いたからおせえて！」

先生：「”まじめ**と**”ではないの！
”まじめ**に**”！」

生徒A子：「じゃあ，”まじめ**に**！”
言ったからおせえて！」

先生：「う~っ！ むなし~~~~い！」

生徒K：「遊んでんと，先へ進もうよ。」

先生：「そうですよ，勉強しましょ。
一つずつ行きますね。

まず，台形ってな~に！」

生徒A子：「は~い！
台の形！

と言うと，センセ，怒るでしょ？」

先生：「...！(-_-;)」

生徒A子：「関係図というのに1組の矢印がついてるね。」

平行の記号かな。

すると、1組の対辺が平行な四角形が台形？」

先生：「そう、

まず、四角形がある。

これは、4本の直線で囲まれた図形だ。

この4本の辺の関係が変化しながら、

次々といろいろな四角形に変身していくことになる。

そこで、まず、台形。

4本の辺のうち、1組に対辺が平行になると、四角形はみ～んな台形になってしまう。」

生徒A子：「センセ、

すると、四角形と台形はちがうの？」

先生：「いや、同じだが、ちがう。」

生徒A子：「??？」

先生：「四角形の中の、あるものは台形で、台形でない四角形もある。

だから、台形は四角形の仲間ではあるが、単なる四角形ではない。

台形は、四角形の特別な形と覚えようか。」

生徒A子：「そうしようか！」

先生：「...! (-_-;)」

生徒A子：「それはいいんだけど、

センセ、定義ってなあに？」

先生：「そうそう、定義の話でした。

例えば、平行四辺形。

いろいろな性質を持っているね。」

生徒A子：「そうだよ、

対角が等しいあの...

対辺が等しいあの...

2組の対辺は平行あの...

おまけに、1組の対辺が平行で等しいとか...

ほんと、"タイヘン"なんだから！」

先生：「パチ、パチ、パチ

はい、座布団2枚！

そんなこと、どうでもいいの！

それじゃ、ひし形や長方形と平行四辺形を区別するとき、

平行四辺形のどこを見ようか？」

生徒A子：「ここのか、とうか！」

先生：「...？」

何、それ。」

生徒A子：「センセが"ようか"と言ったので

8日、9日、10日と語調を整えてあげたの。」

先生：「そんなも、

あげんでもええ！」

生徒 A 子：「あげたんだから，もらってよ。」

先生：「**バガ！**」

生徒 K：「センセ，先へ進もうよ。」

先生：「そう，そう，進もうね。

平行四辺形を他の四角形から区別するとき，
平行四辺形が持っているすべての性質をチェックして...
なんていうことはめんどくさい。」

生徒 A 子：「別に，めんどくさいとは思わないけど...」

先生：「...(--;)！」

めんどくさいことにするの！」

生徒 A 子：「はい！」

先生：「...ん？」

こんかいは，いやに素直ですねエ！
何をたくらんどる？」

生徒 A 子：「ネタ，切れたから
もう，いじわるしない。
先へ進んでいいよ。」

先生：「...(--;)！」

そこでだ，」

生徒 A 子：「どこ？ どこ？」

先生：「ムシ！

とにかく，...」

生徒 A 子：「” とにかく ” ってさ，” 兎に角 ” と書くんだよ，
どして，**うさぎ**に**つ**のなんでしょうね。」

先生：「ムシ！

平行四辺形と他の四角形を区別するときを使う
平行四辺形の性質の代表を決めておこうということになった。
わかりやすいのがいいに決まっている。

そこでだ，

台形は ” **1 組の対辺が平行** ” という性質が代表だから
平行四辺形もこれに準じて， ” **2 組の対辺が平行** ” という性質を代表に
選んだ。

この勢いで，ひし形，長方形，正方形の代表も決めてしまおうって...

ひし形は ” **4 つの辺が等しい** ” ，
長方形は ” **4 つの角が等しい** ” ，
正方形は ” **4 つの辺が等しくて，4 つの角が等しい** ”
という性質をそれぞれ代表に選んだ。

これで，6 種類の四角形は，
いとも簡単に区別することができるようになった。

めでたし、めでたし。

ということで、つまり、お互いの図形を区別するときを使う性質の代表
を、その図形の定義^{ていぎ}ということにしたの。」

生徒A子：「ふ～ん！

そんな裏事情があったの！

シランカットテンチントンシャン！」

先生：「ん？

ぎゃははははは！

ずいぶん古いギャグ知ってるね、YMOだよ。YMO！」

生徒A子：「 ” YMO, いも？

いもっていも？

なんで、いもが ” シランカットテンチントンシャン ” なの？」

先生：「そうか、YMOなんぞ知らんわな、そもそも

おまえが卵にもなっていないずっと前の話だからな。

生徒A子：「え！、あたし卵から生まれたの？」

先生：「そうだよ、人間はみんな卵から生まれるんだ。」

生徒A子：「しらなかった！

でも、人間の卵から生まれてよかったあ。

もし、鳥の卵でうまれたら、

いまごろインフルエンザの巻き添えで

処分されていたかもしれないね。」

先生：「何の話しをしてんの？」

生徒A子：「たまごから生まれる話だよ。」

先生：「誰が？」

生徒A子：「あたしが。」

先生：「どして？」

生徒A子：「人間は卵からうまれるんでしょ？」

先生：「そうだよ。

お母さんの卵子。」

生徒A子：「え？

卵にも子供がいるの？

卵のどこから子供がうまれるのかなあ？」

先生：「なんで、卵から子供が生まれるの？」

生徒A子：「卵の子だから卵子！」

先生：「ばっか！」

ジャンジャン！

生徒K：「勉強進もうよ！」

先生：「そうです、そうです！

勉強していたのでした。

A子と遊んでいるときではないのです。」

生徒 A 子：「...(-_-;)」

先生：「6種類の四角形のそれぞれの定義いいですか，
定義は”じょうぎ”と読んではいけませんよ。」

生徒 A 子：「...(-_-;)」

先生：「まとめておきます。

四角形とは，**4本の直線で囲まれた図形**

台形とは，[**1組の対辺が平行な**] 四角形

平行四辺形とは，[**2組の対辺がそれぞれ平行な**] 四角形

ひし形とは，[**4つの辺の長さが等しい**] 四角形

長方形とは，[**4つの角の大きさが等しい**] 四角形

正方形とは，[**4つの辺の長さ**と**4つの角の大きさが等しい**] 四角形

これから，頻繁に使います，

しっかりと覚えておきましょう。

そうそう，言葉ではなく，絵で覚えておきましょうね。

絵で覚えると忘れません。

いいですね，A子！」

生徒 A 子：「ほよ，\(*_*)/」

急に振らんでちょうだい。

心の準備というものがあるんだから...」

というようなわけで，きょうは四角形の定義(ていぎ)について学習しました。
どのクラスでも，この6種類の四角形を正確に定義できる生徒は，ごく，ごく少数派ではないかと思われます。

これらの定義を生徒に丸暗記させはいけません。

そんなことをすると，1週間後にはみ～んな西の海に流してしまいます。

1週間，なんとかもちこたえた生徒でも

対角線の性質とか，平行四辺形がひし形になる条件とか平行四辺形が長方形になる条件など入り乱れて登場してくると，脳みそが沸とうしてしまいます。

み～んな昇華して，あとにはな～んにも残りません。

そこで，ここからが先生の指導力の見せ所になります。

四角形をめぐる定義や性質や諸関係についての知識の交通整理をしてあげなければなりません。

こういう所で先生が活躍しないと，活躍する場がありません。

ここでは，先生がスターになります。英雄になります。神様になります。

神の声：「なれん，なれん！」

おおげさな！」

ムシ！

神の声：「おい，おい，

久々の登場なのに，

ムシはないでしょう，ムシは！」

ムシ！

神の声：「そんなことしとると，神罰があたるぞ！」
神罰にあたらなくてもいいから，宝くじに当たるようにしてよ。
最近，さっぱり当たらん。
以前は，1万円とか三千円なんかは，よく当たったんだよ。
神さん，何かいじわるしてんじゃないの？
神の声：「神を敬い，祖先を敬えば，
1億円でも当たるようにしてしんぜよう！」
ほんと？ほんと？
うん，敬う，敬う！
ぱち，ぱち，p a c h i...ア～メン！
神の声：「...？
う～っ，むなしい！」

ジャンジャン！

そんなこと，どうでもいいの！
ということで，今回は，どんな生徒も間違いなく定義をしっかりと覚えてしまう
「定義の教え方」についての裏技を紹介することにします。
教材は，一足お先にお目見えです。

◀ **【 まちがいをさせない教材 】** ▶

インターネットを使った通信教育用教材(生徒の自学自習用教材)の紹介です

図形の性質 15	3 特別な平行四辺形(その1) 四角形の定義と相互関係	クリック
-------------	---------------------------------------	------